

## 令和5年度 第3回山陽小野田市地域公共交通会議 議事録

令和6年1月12日（金）

### 1 協議事項

発言者	発言要旨
	(1) 地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）に係る事業評価について
会 長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
会 長	殿様号より姫様号の利用人数が多いのは何故か。
事務局	殿様号・姫様号ともに平成27年より開始しているが、当初より姫様号の利用が多い状況が継続している。両エリアとも面積や人口は同程度であるが、殿様号の利用が伸びていないのは制度の周知が足りていないからと考えている。引き続き利用の底上げができるようPRを実施していく。
会 長	利用状況が若干低迷している中、事務局の方でも対象エリアの拡大等の改善をされているが、今後も状況によっては何らかの改善を図る必要がある。ほかに質問がないようであれば、承認とさせていただきます。

### 2 報告事項

発言者	発言要旨
	(1) デマンド型交通（とまり号）の実証運行結果について
会 長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
委 員	利用者の中で回数券を購入されている方は何名ぐらいか。また、固定客はいるのか。
事務局	回数券利用者数は資料2の4頁に記載のとおり。回数券購入者については、氏名を控えていないので不明である。
会 長	殿様号・姫様号は事前登録であるが、とまり号は都度の予約になるので、誰が利用しているか把握できないシステムとなっている。ただし、回数券購入の方が多いいことは、継続的に利用している証拠だと思うので、固定客がある程度獲得できているのではないかと推察する。
委 員	とまり号は今後も継続されていくかと思う。今回は利用者数が少ないということで国の補助の対象外となっているが、予約型運行の形式で30分前に予約ができるシステムは他地域を見ても中々ない。こういった点をPRして更なる利用者増を目指していただきたい。
委 員	万倉地区のデマンド型交通の情報提供をさせていただくと、宇部市では民生委員が普及啓発活動等をしたことが、新規の利用者増とリピーター獲

	得に繋がっている。このような普及活動もしていったらいいのではないか。
事務局	とまり号については自治会長・民生委員とも連携してきたが、殿様号・姫様号については民生委員さんとの密接な関係を築けていないところもある。アドバイスを踏まえて対応を検討したい。
会 長	とまり号について、居住地（出発地点）別で一番利用が多いのは、以前船木鉄道のバスが運行していた西の郷付近のエリアとなっている。ただ、バスが運行していなかった青葉台付近の利用が継続的にある点は、デマンド導入により利便性が高まった証拠といえるのではないか。このように既存の利用者のあるエリアはもちろんのこと、新規で利用いただけるようにしていくことも大切である。
委 員	とまり号の稼働率が30%を下回っているが、今後高めていくような取組はあるか。
事務局	こちらは計画運行日数に対して実際に運行した便の割合となっている。運行できる状態であるが予約がないという状態を、少しでも減らす取組をしていきたいと考えている。
<p>(2) J R美祢線の災害対応について</p> <p>(3) J R小野田線の活性化に向けた今後の取組について</p> <p>(4) J R小野田線活性化委員会公式SNSの開設について</p>	
会 長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
委 員	<p>小野田線活性化策、特にバスとの連携や認知度向上のためのSNS活用等は是非推進していただきたい。そのうえで、私の方から小野田線自体の魅力を高めるための提言を二点したい。</p> <p>一点目は、山口東京理科大学が旧厚狭高校南校舎に新キャンパスが建設予定ということ、及び将来美祢線が復旧したとき、小野田エリアの商店や高校等に誘導することを踏まえて、厚狭まで小野田線を直通運行できないかと思うが如何か。</p> <p>二点目は以前より申ししているとおり、車両内に自転車を持ち込むことを検討できないか。</p>
会 長	<p>一点目について、乗り換えを改善できるともっと鉄道を生かすことができるのではないか。ハード面での投資が必要となると思うが、山陽小野田市、宇部市とともに考えていけたら良いと思うところである。</p> <p>二点目について、以前議論したとおり全国で事例がないわけではないが、自転車の安全性の考え方が鉄道会社によって異なるものだと理解している。安全性について、慎重な考えの会社もあれば、すぐ持ち込めるようなローカル鉄道の会社もある。</p> <p>事務局として、交通結節点の強化等の考えはどうか。</p>

事務局	<p>小野田線の活性化のためにあらゆる選択肢を検討していくが、ハード面についてはコストがかかることを踏まえ、需要についてしっかり分析をしていく必要があると考えている。理科大の雀田キャンパスと厚狭キャンパス間の移動がどうなるのかはこれから明確になってくると思うので、その需要も含めて、今後JRとも協議していきたい。</p> <p>また、委員のおっしゃる自転車については折りたたむものではなく、そのまま搬入できるイメージかと思うが、安全性や鉄道の定時性なども踏まえ検討課題の一つとさせていただきたい。</p>
会長	<p>先ほど小野田線の共通乗車制度の話があったが、国内にも色々事例があるので、そういったものを参考にしながら制度設計するとよい。</p>
事務局	<p>厚狭まで小野田線を直通運行という話は以前にもあったかと思うが、技術的な点も含めて可能かどうか、JR西日本の説明が聞きたい。</p>
委員	<p>小野田線は厚狭駅方面に現状接続されていない。分岐器の挿入や信号機器の改修など接続すると、かなりの投資となるので、一からの検討の積み重ね、議論にはなる。</p>
委員	<p>以前、朝の時間帯で宇部線の宇部岬から厚狭駅の電車があったと記憶している。昔は石灰石の運搬で厚狭から西宇部方面に走っていることもあったと聞くので、技術的に小野田線も接続できるのではないかと。また、美祿線の車両も小野田線に乗り入れることができるのではないかと。</p>
会長	<p>例えば富山県などで直通するかどうか、ハード面で投資するかどうか議論されたことがあったかと思う。かつて貨物で色々なところに繋がっていたが、今は旅客と貨物が違う会社となり、鉄道のネットワークの形はかなり変わってきている。昔出来ていたことが今出来なくなっていることは、このことに限らず結構多いかと思う。技術的に出来る点はあるかもしれないが、これまで政治的な判断の積み重ねで今に至るので、もし何か新たなことをやろうとすると投資が必要となる。</p> <p>個人的に思うのが、例えば富山県は、LRTの成功であるとか色々な積み重ねがあつたことと思うので、これから山陽小野田市がやろうとしている行政と鉄道事業者、バス事業者のいろいろな取り組みを軌道に乗せていった先に、順調に利用者が増えていった後に、厚狭まで小野田線を直通運行するというようなことが見えてくるのかと思う。</p> <p>また、宇部線との関係について、個人的には山陽小野田市、宇部市、関係各事業者が参加したような形での色々なシステムが構築、運賃の体制等を作っていければいいと思う。</p>
委員	<p>これまでのお話で差し支えなければ、今後接続することができるのか等を調べて次回の会議で報告していただきたい。</p>

会 長	小野田線の利用状況が厳しい現状の中、事務局が考えているあらゆる策が軌道に乗った後の、都市計画的なハード設備の改修検討が必要だと思う。 この点については、事務局とJRと協議してもらいたいと思う。
	(5) 子ども市民教育推進事業「鉄道教室」、「バス教室」の開催について (6) バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェアの開催について
会 長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
委 員	特になし
	(7) サンデン交通の運行計画の変更について
会 長	委員から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
委 員	バス事業者の働き手側からすると、今の給与面・人手不足・労働内容等を考えたとき、若い人材が入ってこない。若い人が入ってくるような策を打たないと先が見えないし、公共交通が成り立っていないのではと思う。
会 長	各事業者の努力がまず必要になるが、働き手の待遇改善となると運賃収入だけでは現状難しい。やはり地域として公共交通が必要であるならば、ある程度利用者の方に負担いただくのか、あるいはそれなりの公的な支出をしていくかというような議論をしなければならないのではないかと思う。 この会議は基本的には交通サービスを議論する場であるが、担い手の部分も議論していかなければならないと考えている。

### 3 その他

発言者	発言要旨
会 長	その他、各委員から御意見、御質問等あるか。
委 員	特になし
会 長	その他、意見等はないか。ないようであればこれで閉会としたい。

閉会